

市議会 だより

VOL.177

Contents

特集	2
代表質問・一般質問	4
第1回定例会の議案の概要	21
議会活動レポート	30
市民の声/次回定例会	31

特集

動物福祉活動



加根議員、中川議員が聞く 動物“福祉”活動

表紙写真／話をお聞きした皆さん

全国的に犬猫の飼育放棄や保護犬猫の殺処分が大きな問題になっています。今回は、本市でこうした犬猫との慈悲深い共生社会を目指して啓発を展開されている「ワンハート制作委員会」のみなさんにインタビューしました。

プロフィール



ワンハート制作委員会
代表 古賀 木綿子さん



丸山 喜代美さん



峡戸 直美さん



姫路 静香さん

ホームページURL : oneheart.chu.jp
Facebook URL : <https://ja-jp.facebook.com/OneheartNyanheart/>

「動物愛護」から「動物福祉」へ

目標は活動自体がなくなることに

Q 自己紹介をお願いします。

古賀 ワンハート制作委員会の代表をしています。

丸山 まだメンバーというよりはサポーターのような状態で活動しています。

峡戸 今年、愛玩動物飼養管理

士という資格を取りました。皆様のお役に立てると思っております。

姫路 私は、家庭の事情で、預かり保護などができないので、譲渡会のときにお手伝いなどをしていきます。

峡戸

Q 団体設立の経緯と活動について教えてください。

古賀 私はピアニストとして、2011年の震災に関するチャリティーコンサートを展開しておりますが、その際、動物愛護や福祉の話を聞く機会があり、広

島県が殺処分数ワースト1位ということ、東広島市も非常に残念な状況だということを知り、音楽等を通して何か啓発をしていくことができなかつたかと思いつ、ワンハートニャンハートというラジオ番組を企画し2012年12月12日に放送をスタートさせました。主な活動としては、環境対策課やボランティアの方々との協力を得て、年に2回犬猫の譲渡会イベントを市役所の駐車場で



- ① インタビュー風景
- ② 3月に開催されたイベント（第3回ワンニャンふえすていばる）での「犬猫譲渡会」
- ③ イベント会場で行われた「ワンニャンカフェトーク」
- ④ イベントで販売されていたグッズ
- ⑤ イベント会場で開催されていた写真展

実施したり、市役所の会議室を借りて動物と人との共生に係るランチタイム講演会や上映会などを開催しています。また、平岩地域センターで譲渡会、しつけ教室、音楽会、写真展を行ったり、地域の皆さんからの野良犬猫保護相談対応などを行っています。

丸山 私も、野良猫に最低限不妊去勢手術をしてあげたいと思って保護のお手伝いしたことがありますが、中々捕まえられないです。ただ、ネズミ算式に増えていくことに対し、何とかしたいという思いでお手伝いしています。

峡戸 私も野良犬猫の保護活動のお手伝いをしています。この活動を通じ、愛情などが芽生え、町で野良猫などを見ると、「この子は去勢しているか。」とか、「寒い時などはかわいそう。」などど見る目が変わってきました。

姫路 私は、保護する上で必要になってくる病院代、検査代、不妊・去勢の手術代といった病院費用のために譲渡会で手づくりの品物をチャリティー販売さ

せて頂いています。

Q 行政に対して行ってほしいことはありますか。

古賀 ソーシャルワーカー、地域包括支援センターの方たち等との連携を深めて、例えば、掃除に入るケアの方たちが「高齢者宅に猫がいた。」などの情報を瞬時に吸い上げていただけないかと思っています。また、平岩地域センターと同様の譲渡会を広く展開したり、教育委員会等とコラボして、学校で命の授業等を展開できたらと思います。

Q 最後に何かメッセージがあればお願いします。

古賀 活動当初、いろいろな方から話を聞く中に「動物愛護」という言葉は100%動物に向けられたものではなく、人に向けられたものだということを知り、大きなショックを受けました。今後は「動物福祉」という言葉を広めていきたいと思っています。また、究極の目標は活動自体が無くなることだと思っています。



威信会
たかはし のりひろ
高橋 典弘

質問した項目

- 新市長のまちづくりの方向性を問う
- 平成30年度主要事業について
- 本市の成長戦略について

高垣新市長の市政を問う

新市長のまちづくり構想は？

質問

高垣新市長が引っ張っているとして、自らの職業に夢と希望を感じることでできる都市、
②子育て中の世代の方にとっては、豊かな自然環境の中で職任が近接し、小学校から大学まで一貫して高いレベルの教育を受けることができる都市、
③高齢者にとっては、住みなれた地域で生き生きと、自分らしい生活を最期まで営むことができるような都市でありたいと考えている。

答 弁／高垣市長

①単に大学がある都市ではなく、本市の財産である学生が地域で輝き、創業や起業、仕事による成功を身近なもの

移住・定住対策について

質問

大切なことは、「学ぶ、遊ぶ、働く、住む」などの選択肢をいかに増やすかだが、どのようにして学生、子育て世代、高齢者まで生活しやすい移住・定住のまちづくりを進めるのかについて問う。

答 弁／西村政策企画部長

市民生活に直結する様々な分野において、ライフステージに応じた安心・充実した生活が送れるようなまちづくり



を進め、「選ばれる都市」を目指していく。充実して暮らせるような都市基盤の整備を引き続き推進していくことで、あらゆる世代に支持される、まさに「選ばれる都市」を目指したい。

拠点・サブ拠点の地域計画について

質問

交通インフラや民間企業の進出しやすい拠点都市基盤の強化と、拠点の更なる機能の充実や、周辺地域の活性化など、市民の生活の補完を目的とした地域計画の策定を進めべきではないか。

答 弁／高垣市長

機能的で比較的優位にある都市基盤の整備を着実に進めていきたい。また、新たな総合計画の策定にあたり、全体的ゾーンングに基づき、具体的な地域ごとのまちづくりビジョンを改めて検討していく。

会派所属議員

高橋 典弘	重光 秋治
宮川 誠子	杉原 邦男
牧尾 良二	

※平成30年4月現在

子育て環境の充実に ついで

質問

東広島版ネウボラ等の実施状況及び今後の進展について問う。

答 弁／石原こども未来部長

産後ケア事業の拡充と、産婦健康診査の費用助成、不妊・不育症治療費の助成、自尊心を高める取り組みを実施した。来年度は地域すくすくサポートの設置及び母子保健分野と子育て支援・児童福祉分野の一体的な支援体制の整備を行う。待機児童については、待機児童解消のための緊急対策プランに沿って全力で取り組んでいる。今後は、平成29年第4回定例会で議決された待機児童に関する決議を踏まえ、国や県の待機児童解消に向けた緊急対策等を積極的に活用しながら取り組んでいく。



徳島県神山町にあるサテライト・オフィス

サテライト・オフィス 誘致について

質問

市域全体で情報基盤の整った風光明媚な本市に、IT産業等のサテライト・オフィスを誘致する作業を急げ。

答 弁／高垣市長

助成制度を創設し、誘致活動として首都圏で行われるIoT関連の展示会への出展や、IT企業を対象とした企業セミナーへの参加などによるPRを進め、誘致の実現に向けた取り組みを進める。

テレワーク推進事業に ついて

質問

テレワークの推進にあたりテレワーカーの育成や、クラウド・ソーシングのシステムづくり、※コワーキングスペースを有する拠点づくり、コーディネート機能が必要ではないか。

答 弁／榎原副市長

市民や企業のテレワークへの理解を深め、来年度はさらにレベルアップした事業を展開していくよう、段階的に支援をする。テレワークの推進



コワーキングスペース

については、国の進める働き方改革の中で職員にとって働きやすい環境づくりという視点から、時間の効率化や移動コストの低減、非常時の際の迅速な情報伝達や情報の共有化などを可能にするものとして進めていかなければならないものと認識している。本市においても、少しずつではあるが、この技術を活用した取り組みを進めている。

起業家の育成事業に ついて

質問

地域おこし協力隊も含み、起業家として生活が成り立つよう包括的な企業支援の強化を図る必要がある。企業が成功するためのトータルコーディネートを進めるべし。

答 弁／天神山生活環境部長

起業家の自立は、起業による資金やノウハウが大きな課題であるため、本市補助金の

※【用語解説】コワーキングスペース 様々な業種、年齢の人々が集まり、仕事をしたり、ノウハウやアイデアを共有し、協働する場所のこと。

活用のほか、金融機関と連携し、融資に向けた事業計画書などのフォローを引き続き行って創業に対する機運醸成を図り、チャレンジ精神を持った創業者を創出していき

地域づくり推進交付金等の見直しについて

質問

①住民自治協議会は、交付金やまちづくり応援活動補助金等を活用して、懸命に地域づくりをしている。交付金システムの見直しを行い、頑張って地域課題に積極的にチャレンジする組織が活躍できる形にすべきではないか。

②地域包括ケアなど継続性の高い事業については、継続性のある予算立てが必要であるが、どのように検討されているか。

答 弁／天神山生活環境部長

①地域づくり推進交付金制度の見直しについては、地域選択項目を拡充しており、継続して検討をしていきたい。

住民自治協議会などの御意見もしっかりとお聞きをし、課題を踏まえて組織体制や人材育成の課題とともに財政的な視点での効果的な仕組みを検討していく。

②地域包括ケアのまちづくりにについては、介護保険制度に基づく地域支援事業として健康づくりや介護予防に主体的、先駆的に取り組む住民自治協議会等を対象とした事業支援として、新年度予算において3年間継続して助成する



東広島市地域づくり推進交付金の手引き

制度を創設し、運用する予定としている。こうした立ち上げ支援的な制度を活用した取り組みについては、その事業成果を検証し、他の地域においてモデルとなるような場合には、支援対象を整理した上で、継続性のある支援策等についても検討していきたい。

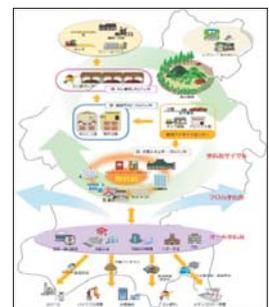
環境先進都市の推進について問う

質問

環境先進都市及びバイオマス産業都市を志向するなら、食品残渣の資源化推進を行い、バイオマスによる優良堆肥を進めれば一気に改善でき、農業方針の課題でもある堆肥不足も解決できることから、まずは給食センターの食品残渣の堆肥化から始めるべきではないか。

答 弁／榎原副市長

現在、関係する民間事業者とともに、市内の食品系バイオマス



東広島市バイオマス産業都市構想イメージ

オマス※ふせんりょう賦存量の見きわめなど事業全体の枠組みや、廃棄物処理法、食品リサイクル法等に関する手続の整理など、事業化に向けて慎重に協議・調整を行っている。環境先進都市として、バイオマス産業都市構想に掲げる堆肥化プロジェクトの推進や、食品循環資源の利用の促進などを通じて食品残渣の活用を図り、環境への適合と経済性、社会性の側面を考慮しながら、民間事業者の力を活用し、持続可能な仕組みをできるだけ早期に構築できるよう取り組んでいきたい。

※【用語解説】賦存量 ある資源について、理論的に導き出された総量。



創志会
たまがわ まさひこ
玉川 雅彦

質問した項目

- 平成30年度予算（案）骨格予算と肉付け予算について
- 仕事づくりについて
- 暮らしづくりについて
- 人づくりについて
- 活力づくりについて
- 安心づくりについて

本市の課題を克服！ 選ばれる都市の実現へ

大学や研究機関との 連携と学生の地元定着

質問

①市内の4大学や多くの研究機関を活用した成長分野における創業・起業支援等の内容、②学生の地元定着率向上を図るための方向性を問う。

答 弁／高垣市長

①大学等との連携をさらに深めながら、地場産業の活性

化や新事業が生まれる共同研究の体制づくりを積極的に行う。成長分野における創業・起業支援も産学金官の連携による活動を積極的に行い、産業を活性化させ支援していく。②就職ガイダンスや企業ガイドの作成、企業の魅力を学生目線で発信する事業等の実施に加え、県と連携しUターン学生などを対象にしたキャンペーン事業を帰省時期に合わせ重点的に行う。

農林水産業の生産向上 と担い手育成について

質問

県内有数の穀倉地帯である本市の農林水産業の経営力強化と担い手の育成について問う。

答 弁／榎原副市長

農産物の高付加価値化による収益力の向上に向け、少子高齢化やマーケットの縮小を踏まえ、「売れるものをつくる」「売れる形に変える」といった、市場を意識した対応が不可欠である。こうした農業の経営力強化や担い手の育成、農水産物の6次化や販路



農業用ドローンの作業風景

拡大に向けたさまざまな施策を展開し、社会情勢の変動に負けない強い農業づくりを目指していく。

日本酒をテーマとした まちづくりの推進

質問

日本酒をテーマとしたまちづくりが観光の増加の追い風となっている。①本市の観光振興の柱でもある観光総合戦略の策定の進捗状況、②観光客の受け入れ体制、③景観の保護や継承について問う。

答 弁／榎原副市長

①東広島市のイメージ向上、観光産業の振興、観光による地域づくり、酒都の魅力向上という4つの柱をもとに目指す方向性を明らかにするよう検討している。②広島ブランドショップT.A.Uや、大阪情報センター、観光案内所等に寄せられた観光客の声を収集し、施策の推進に生かせるよ

会派所属議員

玉川 雅彦	天野 正勝
岡田 育三	大道 博夫
奥谷 求	

※平成30年4月現在

市議会だより 2018.6

う努めている。③酒蔵地区に
おいて、土地利用に対する
ニーズも多様化しており、住
民の方々や関係者の理解・協
力が不可欠であり、関係者の
意向を確認しながら景観形成
のルールを示し、合意形成を
図りたい。



高垣市長と市公認キャラクター「のん太」

**住んでみたい、住んで
よかったまちを目指し**

質問

移住・定住事業の推進につ
いて、市全体がこの課題に取
り組み、地域住民の一層の協
力が不可欠であると思いが、
市の見解を問う。

答 弁／西村政策企画部長

住民自治協議会において、
地域の利活用可能な空き家の
把握、移住・定住希望者との
マッチング、地域の生活情報
の提供や相談対応などを、東
広島定住サポートセンターと
連携し取り組んでいる。自ら
地域課題を分析し、アイデア
を出し合いながら独自性のある
取り組みを行い、移住者と
地域住民が良好な関係を築け
ることが、定住につながり、
その移住者が新たな移住者を
呼び込む原動力となるものと
考えている。

**道路、公共交通、市街地
整備の推進について**

質問

①本市の顔になりつつある
JR寺家駅を中心とした道路
整備や公共交通の再編が必要
ではないか、②旧中央生涯学
習センターの跡地活用の進捗
状況を問う。

答 弁／下田副市長
西村政策企画部長

①寺家地区周辺のまちづく
りは、これまで以上の進展が
見込まれる。JR寺家駅の開
業による移動手段の転換も伴
い、バス利用者が減少する傾
向にあり、駅開業後のバス利
用状況を分析しながら、寺家
地区や八本松地区における将
来的な路線バス再編のあり方
を見極める。②恒久的な跡地
機能の方向性として、公共機
能を軸とした上で、都市型ホ
テルや商業関連施設といった、
民間機能との組み合わせによ
り跡地活用を図る。



今後更なる発展が見込まれる寺家駅周辺

**小中一貫教育、コミュニ
ティ・スクールの導入**

質問

学校統合事業や小中一貫教
育について、地域と教育委員
会との協議が順調に進んでい
るとは感じられない。地域、
学校、教育委員会が、課題点
を常に共有することができる
※コミュニティ・スクールを
導入する考えはあるのか。

答 弁／津森教育長

子どもたちを豊かに育むた
めには、学校生活の様子など
を家庭や地域の方にも理解し
ていただき、具体的な課題を
学校と共有する中で、その解
決へ向けて議論を重ね、それ
ぞれの役割を明らかにしてい
くことが非常に有効である。
現在、来年度からの※学校運
営協議会制度の導入に向け、
制度設計や関係規程などの整
備を進めている。

※【用語解説】コミュニティ・スクール 学校運営協議会を設置している学校
学校運営協議会 学校運営のあり方を、学校と保護者と地域が一体となり考えていく組織



高速道路や幹線道路など 交通連携基盤強化！

質問

朝夕の局地的な渋滞解消を
図り、交通集中の分散化につ
ながる道路整備の強化に取り
組むなどの交通連携基盤の強
化策について問う。

答 弁／加藤都市部長

新たなネットワークの形成
として安芸バイパスの整備を
図りながら、交通の分散や地
域の活性化を図るため、(仮
称)八本松スマートインター
チェンジの設置に鋭意取り組

むとともに、渋滞が慢性化し
ている「国道2号道照文差点」
の改良事業等に取り組み交通
基盤の強化を図っている。今
後は渋滞等の現状把握を行い、
現在進められている事業との
連携も考慮し、より効果的な
計画の検討を行いながら交通
基盤の強化を図る。

仕事づくり、企業の誘 致・留置について

質問

公的産業団地が完売となっ
た現在でも、本市は高い企業
ニーズを有しているが、従来
の考えのままで整備すると機
会を喪失してしまう。スピー
ド感を持って対応するべきで
はないか。企業誘致・留置に
ついて、新たな公的産業団地
の整備も含め見解を問う。

答 弁／榎原副市長

企業誘致、留置については、
民間所有の遊休地等とのマッ
チングや、企業が自ら実施さ

れる開発を支援することなど
により取り組んでいる。新た
な公的産業団地の整備につい
ては、交通アクセスや人材確
保の優位性などの企業ニーズ
を重視し、市内3カ所につい
て概略設計を実施し候補地の
絞り込みを行っている。今後
は、事業収支や分譲可能面積、
地域住民の意見や用地取得の
可能性なども踏まえ、開発場
所の選定を急ぎたい。

子育て環境・地域包括 ケア体制の整備

質問

①子育てするなら東広島の
実現に向けた、東広島版ネウ
ボラの構築や待機児童対策に
ついて問う。②介護、医療、
住まい、予防、生活支援の5
つのサービスを一体的に提供
することを目指す地域包括ケ
アシステムである地域包括ケ
ア体制整備について問う。

答 弁 石原こども未来部長 増田健康福祉部長

①東広島版[※]ネウボラの構
築については、出産・育児サ
ポートセンターをすくすくを設
置し、より身近な地域で妊娠
期から出産、子育て期までの
切れ目ない支援を重層的に行
う。待機児童対策については、
保育の受け皿整備と保育士確
保に努め、全庁一体で対応す
る待機児童対策本部を立ち上
げる。②地域包括ケアシステ
ム構築の推進は、部局を超え
た横断的な取り組みが重要で
あり、各地域の特色を生かさ
れていくよう支援する。



※【用語解説】ネウボラ フィンランドの子育て支援の取り組み



高志会
なかひら よしあき
中平 好昭

質問した項目

■仕事も暮らしもNo1、選ばれる都市を目指して

仕事も暮らしもNo.1 選ばれる都市を目指して

小さな拠点とネットワークの形成

質問

本市は、全国的にまれな人口増加の状況にあり、人口20万都市を目指して市街地の拡大を基本としたまちづくりが進められている。しかし、周辺部においては人口減少が急速に進んでいる。日本国全体で人口減が進行する中で、空家等対策計画（案）、立地適

正化計画（案）等は短期の計画で可能なのか。長期的視野で行うとすれば大方の地域は限界集落化し、計画をつくる意味合いが薄れるのではないか。

答 弁／高垣市長

空家等対策計画は5年間の短期行動計画となっている。広報紙などを用いた空き家の発生抑制等を行う。立地適正化計画は、駅等が位置する生

活圏の核となる拠点市街地へ住民や生活サービス施設を集約化し、公共交通ネットワークの充実を図ることで、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりの実現を基本方針として位置づけ、おおむね20年後のまちを見据えた計画策定を進めている。

市民が共に支えあう 共生社会の実現

質問

行政は限られた予算・人員を配置し事業を行ってきた。しかし、周辺部においては人口減、高齢化、人材不足は年を追って深刻さが増している。周辺の環境を鑑みると真に必



広島空港

要な政策は何か、行政がすぐに行えることは何か、様々あると思うが所見を問う。

答 弁／西村政策企画部長

全国的な少子高齢化やより利便性の高い都市部への人口流出も相まって、ご指摘のとおり、特に周辺部において人口減少の傾向が顕著となっている。本市の大きな課題と認識している。行政の役割として自主的なまちづくり活動の支援、住民自治協議会の一層の活性化等を図り、市民が共に支えあう共生社会の実現に努めていく。

広島空港の拠点性向上

質問

広島空港の西の玄関口である本市の役割は非常に大切であると考えます。広島空港の活性化方針について、広島県独自の計画や考えで活性化策に取り組むのではなく、積極的に本市の意見や考え方を取り

会派所属議員

中平 乗越	好昭 耕司	大谷 梶谷	忠幸 信洋
-------	-------	-------	-------

※平成30年4月現在

入れることが必要と考えるが
所見を問う。

答 弁／高垣市長

空港経営改革委員会の中
で、地域活性化に関する考え
方などを積極的に提案し、広
島空港のさらなる活性化が地
域への波及効果を生み出すよ
う努めていく。一方で西条工
oportリムジンの運行を開
始しており、積極的なPRを
行い、利用促進を図ることで、
広島空港の活性化につなげた
い。

広島空港周辺の3カ所の 固有地活用

質 問

産業団地の整備については、
広島空港周辺の3カ所の固有
地の活用を図ることにより、
空港利用客の増や、空港及び
周辺の活性化につながり、本
市にとっても、企業立地や働
く場の確保や、広島空港開港
時の地元対策事業を履行する

ことになると思うが、県との
連携について問う。

答 弁／榎原副市長

現在、新たな産業団地の整
備に向け県市連携により協議、
要請を行っている。県も団地
ごとに採算性の評価を行い事
業化を検討されると伺ってい
る。県には、引き続き産業団
地整備促進に向けて、未利用
固有地の活用を要請していく。
**産官学連携はコーデ
ィネーター作りから**

質 問

産官学連携による創業を推
進するうえで、官（市役所）



産官学の研究機関が集積する
サイエンスパーク

と学（大学等）をタイムリー
に結びつけるコーディネー
ターが市役所に必須であると
考えるが、この点を質す。

答 弁／榎原副市長

市の職員が教授や准教授と
同等の専門性を有し、必要な
知識と高いスキルを持つ人材
となっているが、同等の専門性を
持つことは難しいと考えてい
る。市と産業界技術総合研究所
中国センターが中心となり、
広島県立総合技術研究所とも
連携して行う御用聞き型企業
訪問事業の実施等により、新
商品開発や起業、創業につな
がる活動を行っていききたい。
**三永水源地をゲットして
観光名所に**

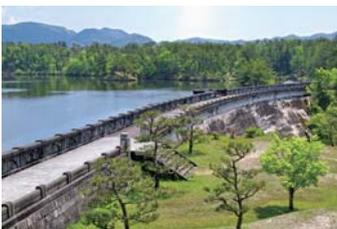
質 問

東広島市は水源を太田川に
依存しているため、常に断水
の危険がある。これを緩和す
るためのバッファーとして、

東広島市にありながら呉市が
所有する三永水源地を呉市か
ら譲り受けてはどうか。もし
て観光名所にしてはどうか。

答 弁／下田副市長

水利権の調整は困難である
が、水道供給に係る危機管理
対策などは調整・協議を行っ
ていきたい。なお、水源地の
水は工業用水として使用され
ているため、湖面の活用は禁
じられている。また、昔は藤
棚等の観光名所として観光客
を集めたが、台風被害などに
よる景観の変化から現在は激
減しており、呉市により藤の
植えかえや藤棚の整備を実施
されたが、大幅な改善は見ら
れない状況にある。



三永水源地



創生会
つばい こういち
坪井 浩一

質問した項目

■ 市政運営に対する考え方について

市民優先の市政運営と 新年度予算について

日本一の学園都市を
目指し教育環境の整備を

質 問

教育環境を充実させるためには、マンパワーの充実なくして叶えることはできないと考えるが、退職教員を中心とした人材センターのような組織が必要ではないか。

答 弁／津森教育長

近年、全国的に教員の大量

退職と、それを補充する形で大量採用という状況の中で、教員の年齢構成の不均衡は、若手教員への指導技術の伝承に影響が生じるものと懸念している。また、多様な価値観を持つ保護者への対応など、抱える課題は複雑化、困難化しており、教員が子どもと向き合う最も大切な時間が、特に経験の浅い教員にとって十分に確保できていない状況が見受けられる。こうした

状況への対応として、豊かな経験を有する退職教員を派遣することは、教員の指導力の向上や子ども育成につながるものと考えており、学校の現状にフレキシブルに対応するためには、十分な人材の確保が必要であるため人材センターのようなシステムは有効であると考えている。

子育て環境の整備の
ために

質 問

待機児童の解消に向けた保育士確保策については、待機児童解消対策室のような部署を設置して、専属の職員で対応するということも選択肢の一つではないか。

答 弁／高垣市長

待機児童対策は課題が多岐に渡り関係する部署も多いことから、スピード感をもって対応するためには、部局横断的な組織体制が必要であると

考えている。そこで、私を本部長とする待機児童対策本部を立ち上げ、全庁一体となつて待機児童の解消に取り組んでいく。また、保育を取り巻く環境の変化や国の制度改正などに迅速に対応できるよう、待機児童対策の専門部署の設置についても検討を進めている。

安全安心な暮らしの
ための地域防災を

質 問

西条周辺の黒瀬川流域における浸水及び排水対策の基盤整備が急務であるが、開発における防災調整池の設置基準の上乗せについて考えを伺う。



グラウンドの下に防災調整池がある龍王小学校

会派所属議員

加藤 祥一 坪井 浩一	岩崎 和仁 鈴木 利宏
----------------	----------------

※平成30年4月現在

答 弁／高垣市長

上乘せ基準の制定については、今後も他県の事例など、さらに調査研究するとともに、河川管理者との連携を密に図り、総合治水という観点から検討していきたい。

企業の誘致と留置に係る最善策とは

質問

企業の留置活動の積極的な促進を掲げているが、他市との競争が激化する中で、既存企業の設備投資への支援や増設など、現状の対応で万全と言えるのか。

答 弁／榎原副市長

企業誘致及び留置は、企業ニーズに対しタイムリーに対応することが重要であり、スピード感を持って産業団地の整備ができるよう取り組んでいきたい。



西条酒蔵地区の景観

交流が盛んで賑わいのある街であるために

質問

「吟醸酒発祥の地」である本市の特色を生かし、魅力ある観光の拠点づくりに取り組むためには、行政が主体となつて先導する必要があると考えるが、いかがか。

答 弁／下田副市長

現在、観光総合戦略の策定に取り組んでおり、その中で地域資源を生かした魅力ある観光地を形成し、国内外からの観光客を誘致することにより、交流人口の増加や地元事

業者の活性化を図ることができよう、その取り組みの指針を策定することとしている。今後の魅力ある観光の拠点づくりについても、この観光総合戦略の中で検討し、本市の観光の最大の魅力である日本酒・酒蔵を核としながら、各地域の観光資源の活用を積極的に進めていきたい。

新たな発想を活かした公有地の利活用を

質問

当面の利用が示された中央生涯学習センターの跡地については、活用方法が決定されるまでの2年間は無償で貸し出すこととされ、現状は物販及び有料駐車場で活用されている。しかし2年のうち既に1年が過ぎようとしており残り1年もあつたという間に過ぎてしまう状況の中で、恒久使用に係る検討はどの程度進んでいるのか。

答 弁／西村政策企画部長

中央生涯学習センター跡地の恒久的な活用については、本市の都市機能をさらに強化する上で、重要な公有地であると認識をしており、昨年来、公共や民間機能の比較検討を行ってきた。現在、都市機能を強化する上での「都市型ホテル」参入の実現可能性を判断するための情報収集等を進めているところで、今後、早い段階で、中心市街地に必要な機能の最終的な整理を行い、恒久的な利用に向けて事業を進めていきたい。



物販及び駐車場として利用されている中央生涯学習センター跡地



清新の会
きたばやし みつあき
北林 光昭

質問した項目

■「まちづくりの方向性」について

新たな市政の始まり、 その方向性を問う

まちづくりを支える
人材と財政運営は

質 問

今後予想される厳しい財政の下、都市基盤整備をはじめとした多くの課題を解決し、事業を行う必要がある。その財政運営の基本方針と、それを支える人材育成の方向性について問う。

答 弁／高垣市長

厳しい財政見通しはあるものの、東広島市のさらなる発展のためには、都市基盤、産業基盤そして生活基盤整備が必要である。そのためには、将来の税収確保につながるような戦略的投資も考えていきたい。人材育成については、「市民起点」ものを考え、「成果志向」「経営感覚」を意識し、道理に基づいた「正しい考え方」をもって仕事に当たることを職員に求め、自分

自身が東広島市のまちづくりを主導していくという意欲と情熱を持ち、責任ある仕事をする職員を育成しながら、みずから先頭に立って理想とするまちづくりを進めたい。

質 問

学生¹の地元定着を促す雇用創出の方法は

答 弁／榎原副市長

広報型インターンシップ事



広島大学

業「地域マイスター留学」を行い、学生に市内企業を知ってもらう取り組みを実施している。起業応援については、創業支援事業計画を立てて商工団体や産業支援機関、金融機関等と連携し、創業支援について取り組みを行っている。

地域拠点と交通ネットワークの構築とは

質 問

様々な生活サービスや地域活動を支える地域拠点の形成を図り、それら各拠点を道路や公共交通によってネットワーク化することは、市域全体の発展につながる。これに加えて生活道路が充実されれば利便性の向上がさらに見込まれると考えるがいかがか。

答 弁／下田副市長

総合計画でも位置づけている市内の各地域拠点間のネットワークの形成を図ってきた。限られた財源の中で、安全・

会派所属議員

北林 光昭	貞岩 敬
重森佳代子	池田 隆興

※平成30年4月現在

安心の確保を前提に、経済再生に資するストック効果が高い事業を行うことが求められている。身近な生活道路についても、安全・安心で快適な暮らしに役立つことを目的として、地域要望により整備を進めていく。

東広島市を支える人づくりの方向性とは

質問

人づくりの重要な柱として学校教育の充実があり、その学力アップのため日本一の教育都市を目指すことが打ち出されているが、どのような施策を展開していくのか問う。

答 弁／津森教育長

平成26年4月に第四次学校教育レベルアッププランを策定し、「夢と志をもち、グローバル社会を生きる子ども」を目標の子ども像として取り組みを推進してきた。今後は、「世界標準の教育」をこれに

加え、地域や大学の協力を得ながら、次代を担う子どもたちの資質・能力の育成に努めていく。

税金と雇用を生み出す産業の育成支援は

質問

4 大学と官民の試験研究機関との共同開発による先端技術産業等の育成を促すために、人的資源のあっせん、開発費の一部助成、特許申請補助といった行政としてできる支援メニューを創設してはどうか。

答 弁／榎原副市長

人的資源のあっせんについて



市内に立地する試験研究機関「酒類総合研究所」

ては、新産業創造センターや東広島市産学金官連携推進協議会のコーディネート活動によりすでに行っている。また、様々な支援メニューについても、「ものづくり新事業展開支援事業」を設け、市内中小企業の支援を行っている。今後については、インターネットショップ活用販促促進事業の創設を行い、社会変化に対応しながら一層の支援を行っていく。

どう取り組む？喫緊の課題 待機児童問題

質問

昨年8月「待機児童解消緊急対策プラン」を策定し、待機児童の問題への取り組みを発表したが、すぐに効果が表れていない。そこで横断的組織を設け、問題解決への姿勢を示すとともに、実効性のある対応を図ったかどうか。

答 弁／高垣市長

昨年策定した緊急対策プランに従って保育定員の増を図る等施策を展開している。平成30年度においては、保育士確保策として新たな給付金制度の創設、職務奨励費の増額、就職相談会等の取り組みにより、40人の保育士確保を目指していく。また、全部局が一体となった横断的組織が必要と考え、私が本部長となって待機児童対策本部を立ち上げ、全庁一体で待機児童の解消に取り組んでいく。また、関係部署・関係機関との調整等、スピード感を持って対策を進めるため、待機児童に特化した専門部署の設置についても検討する。





市民クラブ
いしはら けんじ
石原 賢治

質問した項目

■輝く東広島市を実現するための
取り組みについて

輝く東広島市を実現する ための取り組みについて

有機的なまちづくりの
推進について

質問

本市は広大な地域を有し、都市拠点・地域拠点を中心としてコンパクトかつ特性を生かした機能分担により个性的なまちづくりが必要である。また、地域特性に応じた公共交通の確保及び拠点間ネットワークを推進する必要があるが、見解を問う。

答 弁／高垣市長

本市のまちづくりは、総合計画に基づき、都市づくりの基本方針となる都市計画マスタープランを作成し、西条駅周辺を全市的な都市活動を支える「都市拠点」に、支所や出張所を中心とした地域を「地域拠点」に位置づけ、それらを公共交通により連携する多極ネットワーク型のコンパクトシティを目指していく。

公共交通の 利便性について

質問

本市の主要な交通機関であるバス路線はモータリゼーションの進展に伴い、厳しい状況にある。バス路線の維持確保に向け、公共交通網の再編、充実を図る必要がある。市民や来訪者にとって安全で利便性の高い持続可能な公共交通網の充実を図る必要があるが、見解を問う。

答 弁／西村政策企画部長

交通結節点の整備やバス路線の再編といった利便性の



地域での交通を担うコミュニティバス
「黒瀬さくらバス」

向上を目指す施策のみならず、自動車から公共交通へ自動的に転換するためのモビリティ・マネジメント推進の両面から交通施策を展開している。自家用車から自発的に転換していただくため意識啓発などの取り組みを進めている。交通弱者が安心して生活できる環境を、地域特性を踏まえ交通施策を推進する。

市民がともに支えあう 共生社会について

質問

全ての市民がお互いの個性や立場を認め合う地域社会を目指さなければならぬ。外国人も含め、ともに支えあう共生社会実現の取り組みについて問う。

答 弁／西村政策企画部長

交流が活発化し、温かな地域コミュニティが形成されたまちの実現に努める。外国人市民が地域社会で暮らしてい

会派所属議員

石原 賢治	中川 修
赤木 達男	

※平成30年4月現在

くための日本語能力の向上、地域における異文化理解を促進するための交流機会の提供など、互いに安心し心豊かに生活できる環境づくりに取り組んでいる。

ワークスタイルの変革を実現するために

質問

働き方改革の推進による、家族との時間や自由な時間を大切にできるワークスタイルの実現をどのように実現されるのか問う。

答 弁／高垣市長

休暇制度などの充実と時間外勤務の縮減や休みやすい雰囲気づくりなどの雰囲気醸成の両面から取り組んでいくことが必要であり、所属長を含む職員の意識改革、育児休業を取得しやすい環境づくり、子育てを行う職員が活躍できる職場づくりなどに取り組んでいる。働く人の視点に立つ

た改革として、組織の一人ひとりがよりよい将来の展望を持ち得る取り組みを進める。



地域包括ケア体制の整備について

質問

疾患を抱えている高齢者が安心して生活していただくために、医療・看護サービスと介護サービスの連携が大切である。被介護者の病状の悪化や急変の場合、迅速に医師や看護師らと連携できる体制の整備が求められる。医師不足の地域の体制整備について問う。

答 弁／増田健康福祉部長

かかりつけ医を中心とした医療と介護関係者の連携体制づくりや情報共有の仕組みづくり等を多職種で検討をしている。今後、在宅医療に関わる専門職がそれぞれの専門性を生かしながらチームとなつて、個々のケースに合った在宅医療・介護を支援していく体制を構築し、重層的な支援を行うことで、高齢者の方々に安心して生活していただくように努める。

健康寿命の更なる延伸のために

質問

市民一人ひとりが生涯を通じて健康に過ごすことができるよう、さまざまな機関や団体、地域が一体となって健康づくりを推進する社会環境を整備することがますます重要となっている。社会環境の整備や、高齢者サロンや通いの

場などへの支援や介護予防の重要性についての普及活動について、市の見解を問う。

答 弁／増田健康福祉部長

市民の健康な暮らしのために、飲食店等と協力して、野菜の摂取や食習慣改善メニューの提供や、美容や整体等のサロンなどで心の専門相談窓口へつなぐ啓発カードを配置していただくなど、幅広い世代への働きかけを行っていき、さまざまな業種や地域と協働して多彩な情報を発信する。住民の主体的な活動を側面的に支援し、活動の効果を実際に実感していただく中で、介護予防の重要性を啓発する。





公明党
かね よしき
加根 佳基

質問した項目

- 新年度予算案について
- 市政への関心向上に向けた取り組みについて

新年度予算案について

子育て事業について

質問

ネウボラの中央拠点として「子ども家庭総合支援拠点」を位置づけるとともに、地域ごとに新たに設置する「地域すくすくサポート」と連携しながら支援体制の構築を進めるとのことであるが、新年度の取り組みについて問う。

答 弁／石原こども未来部長



地域すくすくサポートセンター

市内の10の日常生活圏域内に1カ所ずつ、保健福祉センターや地域子育て支援センター等に地域の支援拠点であ

る「地域すくすくサポート」を設置し、一体的な支援体制として「子ども家庭総合支援拠点」を整備していく。

障害者自立支援について

質問

地域包括ケアの一環として、障害者も地域で暮らせる体制づくりが進められている。本市の現状と地域生活支援拠点の整備についての取り組みを問う。

答 弁／増田健康福祉部長

平成29年の障害者手帳所持者数は9千379人と人口の約5%を占めており、増加傾向にある。介護及び訓練等の自立支援給付費も年々増額しており、障害者の自立支援の一層の充実が求められている。本市は、市域内に障害者支援事業所が多いことから、「面的整備型」により体制を整備することとしている。

防災・救急事業について

質問

南海トラフ巨大地震などに備えた人員確保は待ったなしの状況であり、政府は地震などの発生時に限定して出動する「大規模災害団員」を導入するように促しているようであるが、本市はどのように対応されるのか問う。

答 弁／古川消防局長

本年1月総務省消防庁から大規模災害団員の導入についての通知を受け、消防団の幹部会議において今後検討していくことを確認したところである。大規模災害団員の活動内容として、大規模災害時の情報収集や伝達、避難誘導、避難所の運営支援などの活動が想定されていることから、自主防災組織やボランティア組織との役割分担、連携方法、組織の形態や規模、報酬等の

会派所属議員

竹川 秀明	加根 佳基
小川 宏子	

処遇といったさまざまな課題について、検討したいと考えている。

農林水産業の振興について

質問

小規模な兼業農家の抱えている問題として、高齢化の進行による離農者の増が挙げられ、担い手の確保に重点を置き、長期的な視野に立つ必要があると考えるが、具体的な取り組みについて問う。

答 弁／榎原副市長

非農家の若い世代の新規就農者の確保について、本市が



ドローンを活用した農作業の様子

実施する研修等の就農支援制度についての啓発はもとより、市外からの移住者確保に向けて

た相談窓口の開設、住まいや農地の確保などの、一体的な支援に努めるとともに、新たに、より就農意欲の高い層への働きかけにも力を入れることを計画している。

観光施策の取り組みについて

質問

西条酒蔵通りが、「日本の20世紀遺産20選」に選ばれたことを機に、今まで以上に多くの外国人観光客を呼び込む施策が急がれている。今後の取り組みについて問う。

答 弁／榎原副市長

観光案内所において地元企業が開発した多言語対応のロボットが観光案内をするしくみ作りや、異文化体験に関心が高い外国人観光客の民泊需要に対応すべく、市内の寺院

等の協力による寺泊事業の支援などを検討している。



酒蔵通りを訪れる外国人観光客

市政への関心向上に向けた取り組みについて

質問

市民の市政に対する関心度は選挙の投票率に表れており、この度の市長選においても約35%と低い状況であった。このままでは市政と市民意識の乖離が懸念される。そこで、①シティプロモーション戦略の転換について、②魅力的な情報を市民が利用しやすいオープンデータの充実について、③地域に根差した報道媒体の新たな活用について問う。

答 弁／高垣市長

①市民への情報発信を通じ、市民自らが市外へ住む家族や友人等へ発信することも有効であることから、市民がSNS等を利用して本市の魅力を発信しやすくなる情報を市民に提供したい。

②市の公式HPをリニューアルした際、東広島市くらしのアプリや、オープンデータカタログサイトといった新たな機能を導入し、利便性の向上を図っており、市政に関する情報のさらなる充実を図るよう努めていく。

③地域メディアであるカモンケーブルテレビ、FM東広島、プレスネットは、市民生活に密着した情報源として多くの市民が利用しており、これらの地域メディアと市の広報媒体の特性を効果的に結びつけ、クロスメディアによる相乗効果が生まれる手法を検討していく。



谷 晴美 (日本共産党)

質問した項目

- 平和行政について
- 国民健康保険特別会計の市の対応について
- 介護保険特別会計の市の対応について
- 奨学金返納事務と国の給付制奨学金制度について

住民の医療・介護・教育を 負担軽減し安心な市に

国保の広域化で増える
税負担に対応を！

質 問

税の負担増に対し一般会計から国保特別会計への法定外繰り入れをして、負担軽減すべきと考えるが、見解を問う。

答 弁／増田健康福祉部長

国は、新制度の円滑な移行を図る観点から、保険料の急激な上昇は望ましくなく、自

治体に緩和措置を講じるよう要請はしているが、基準外繰り入れを計画的に減らすという姿勢に変わりはないとしている。本市では、国税の軽減のために一般会計から国保特別会計へ基準外繰り入れを行うことは、他の医療保険に加入して保険料を支払っている方にとっては、二重に負担することとなるため、税の公平性の観点からも慎重に検討すべきと考えている。

消費税を見越した実質 負担増に対応を！

質 問

第7期介護保険事業計画に示された新たな介護保険料について保険料は前期と変わらないものの消費税10%を見越した料金体系であり、実質は負担増である。利用料の軽減を独自にされるよう求めるが見解を問う。

答 弁／増田健康福祉部長

介護保険は相互扶助の制度であり、被保険者の負担能力に応じたものでなければならず、市独自に一般財源を投入して支援を行うことは、被保険者間の公平性の確保の観点からも適切でないと考えている。

若者の夢と希望の持てる 将来に支援を！

質 問

市独自の給付制奨学金を創

設することについて見解を問う。

答 弁／増田健康福祉部長

高校生の通学区域や県下一円となり同じ高校へ通学する子どもたちへの支援のバランスを考えると、実施主体は県あるいは国であるべき施策と考えている。加えて国は、幼児教育完全無償化の方針を決定しており、これに係る市町村への負担が求められることも懸念されるため、市独自の制度を検討することは、慎重にならざるを得ない。



第1回定例会

(会期：平成30年2月13日～3月20日)

議決した案件

- 条例案…25件 ●予算案…34件 ●諮問…7件 ●同意案…30件 ●その他…17件
 (●全会一致可決…95件 ●賛成多数可決…18件)

高垣新市長の施政方針

「選ばれる都市 東広島」の実現を目指して

市長の施政方針に基づいた次の「5つの政策」について、「肉付け予算」として重点的に予算配分されています。

- ◎仕事づくり **2億8,430万円**
 - ①産学金官連携による創業・起業支援 ②中小企業の生産性向上に向けた支援
 - ③農林水産業の経営力強化と担い手の育成 ④魅力ある観光の拠点づくり
- ◎暮らしづくり **9億3,240万円**
 - ①市街地整備による魅力ある住環境の形成 ②地域拠点とネットワークの形成
 - ③次世代型の環境都市の形成 ④市民が共に支え合う共生社会の実現
- ◎人づくり **6億7,920万円**
 - ①新しい時代を担う子供たちの健全育成 ②男女共同参画及び働き方改革の推進
 - ③人の集まりと定着
- ◎活力づくり **13億9,530万円**
 - ①幹線道路・街路などの交通連携基盤の整備 ②市の顔となる都市拠点の整備
- ◎安心づくり **17億1,150万円**
 - ①安心して子どもを産み育てられる環境の整備 ②医療・介護・福祉のサービス提供体制の整備 ③防災・減災及び防犯対策の推進
- その他 **1,730万円**

Pick Up

平成30年度 一般会計予算を可決

〈議案第85・11号〉

2月に市長選挙が行われ、市長就任からの期間が短いことから、義務的・経常的経費を中心とした「骨格予算」と、政策判断を必要とする新規・拡充事業を中心とした「肉付け予算」の二つに分離して予算が提出されました。合わせた予算規模は、一般会計746億5千万円(前年度比0.6%のマイナス)となっています。

主な肉付け予算

- ◎仕事づくり
 - ・大学発ベンチャーの創出支援
 - ・ジビエ加工施設の整備
 - ・映画&観光プロモーションの推進
 - ・ハート島(小芝島)を望む展望台の整備
- ◎暮らしづくり
 - ・空き家対策の推進
 - ・東広島運動公園陸上競技場の改修
 - ・安芸津海域水質汚濁調査の実施
 - ・木質・ハイオマス活用設備導入調査
- ◎人づくり
 - ・小中学校校務支援システムの構築
 - ・小中学校トイレの洋式化
 - ・オリンピック事前合宿の推進
 - ・移住者の創業の支援
- ◎活力づくり
 - ・西条空港リムジン運行ダイヤの検証
 - ・美術館建築
- ◎安心づくり
 - ・私立保育所等施設整備の助成
 - ・保育補助者雇上の支援
 - ・(仮称)東広島消防署高屋分署の整備

Select.1

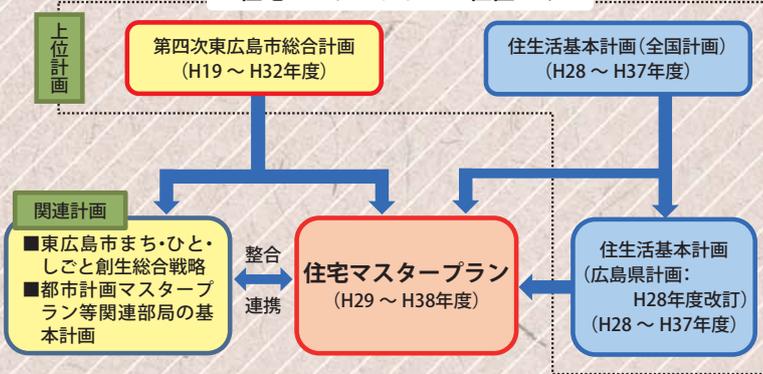
〈議案第38号〉

住宅マスタープランが改訂されます

社会経済情勢の変化に伴い、東広島市住宅マスタープラン（平成23年度～平成32年度）を改訂します。住宅マスタープランは、平成9年1月に策定されて以降、国の住宅政策の見直しに伴い、平成19年3月、平成23年7月に改訂され、今回で3回目の見直しとなります。

- ◎計画期間
平成29年度から平成38年度まで
- ◎基本理念
ともに育（はぐく）み、人が輝く住生活が可能なたたかいまちを目指して
- ◎基本目標
 - ・ ゆとりある良質な住宅ストックの形成と活用促進
 - ・ 多様な交流を支える住まいと住環境の実現
 - ・ 人々から選ばれる住まいと住環境の実現
 - ・ 安全で安心な暮らしを支える住まいと住環境の実現
 - ・ 誰もが安心して住宅を確保できる住宅セーフティネットの実現

住宅マスタープランの位置づけ



Select.2

〈議案第40・41号〉

「(仮称)道の駅西条」の整備に必要な土地を取得します

現在、国土交通省と連携して整備を進めている、「(仮称)道の駅西条」に必要な土地のうち、本市が整備する部分を買入れ入れます。また、国土交通省が整備する部分については、市の土地を売り払います。

- 買入れ又は取得する土地の内、次の2件について、2千万円以上かつ5千㎡以上であるため、議会の議決を求められました。
 - ◎ 買入れる土地
 - 西条町寺家字吹越20番4 ほか4筆
 - 面積 1万571㎡余
 - 価格 4千651万円余
 - 相手方 一般財団法人寺家会
 - ◎ 売り払う土地
 - 西条町寺家字吹越115番 ほか2筆
 - 面積 5千663㎡余
 - 価格 2千429万円余
 - 相手方 国土交通省



(仮称)道の駅西条のイメージ図

Select.3

〈議案第52号〉

西条本町歴史広場を 設置しました

本市の日本酒の醸造の歴史と文化を広く伝え、市民の郷土に対する愛着の醸成と地域の活性化に寄与することを目的として、西条本町歴史広場を設置し、施設の管理運営に関して必要な事項を定めました。

◎条例の内容

●広場の利用について

広場の利用者は市民や観光客としていますが、物販や広場の独占使用等は教育委員会
の許可が必要となります。

施設の損傷や汚損騒音等により他人に迷惑を及ぼすなどの行為は禁止されています。また、不快の念を起させる行為なども認められません。

●位置

西条本町708番地4



西条本町
歴史広場

西条酒蔵通りに面しており、観光案内板や休憩スペースとして屋根つきのベンチも設置されています。

Select.4

〈議案第50号〉

重度心身障害児福祉手当の 支給要件が緩和されました

重度心身障害児の福祉の増進を図ることを目的として、東広島市重度心身障害児福祉手当支給条例の一部改正を行いました。

◎条例改正の内容

●支給資格者

支給資格の認定に係る基準
日が廃止されました。

●支給資格認定の申請

支給資格の認定の申請に係る期限が廃止され、随時申請を受け付けることになりました。

●支給期間

支給資格の認定の申請のあった日の属する月分から支給することになりました。

●手当の返還

市長は、偽りその他不正の手段により手当を受給した者があるときは、支給した手当に相当する額の全部または一部を返還させることができます。

●施行期日

平成30年4月1日

Select.5

〈議案第69・70号〉

西条昭和町自転車駐車場と
駐車場が新たに設置されます

西条栄町駐車場・自転車駐車場を廃止し、西条昭和町駐車場・自転車駐車場を新たに設置し、駐車場の使用料を定めます。

◎収用台数等

車種	利用開始日	収用台数	月額
普通自動車	5月1日	7台	10,300円
軽自動車		23台	8,800円
自転車・バイク	4月16日	172台	無料



西条昭和町自転車駐車場・駐車場位置図
(地図：ひがしひろしまつづ)

Select.6

〈議案第110号〉

消防団員の報酬額が上がります

地域防災力の中核を担う消防団の充実強化のため、消防団員の処遇の改善を図ることを目的に、班長及び団員の報酬の年額が、平成30年4月1日から引き上げられます。

<引き上げ内容(年額)>

階級	現行	改正後
班長	22,000円	⇒ 23,000円
団員	19,000円	⇒ 22,000円



消防団の訓練の様子

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▶		議案第40号	議案第41号	議案第45号	議案第48号	議案第60号	議案第61号	議案第65号	議案第69号	議案第70号	議案第74号	議案第85号	議案第90号	議案第91号	議案第92号	議案第103号	議案第104号	議案第111号	議案第113号
会派名	議員名																		
威信会	重光 秋治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宮川 誠子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	杉原 邦男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高橋 典弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	牧尾 良二	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
創志会	天野 正勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岡田 育三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大道 博夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	玉川 雅彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奥谷 求	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
創生会	岩崎 和仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	坪井 浩一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤 祥一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鈴木 利宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高志会	大谷 忠幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	乗越 耕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中平 好昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	梶谷 信洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清新の会	貞岩 敬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北林 光昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	重森佳代子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田 隆興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公明党	加根 佳基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	竹川 秀明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小川 宏子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民クラブ	中川 修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	石原 賢治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	赤木 達男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党	谷 晴美	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
守東会	山下 守	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「除」は除斥になります。

本会議の討論

賛成 ●議案第40号(仮称)道の駅西条の土地の取得

反対 谷 晴美議員
どうしても必要であれば民設民営の施設にすべきだったと考え、反対する。

賛成 ●議案第41号(仮称)道の駅西条の土地の処分

反対 谷 晴美議員
議案第40号と同じ理由で、反対する。

賛成 ●議案第45号(宇山老人集会所の無償譲渡)

反対 谷 晴美議員
集会所は災害時には避難場所平時には多目的な施設として利用可能。これまでどおり責任を持って市民に活用してもらおうべきだと判断し、反対する。

賛成 高橋 典弘議員

集会所の無償譲渡に関しては、地元住民の総意のもとで決められたもので、賛成する。

賛成 ●議案第48号(宇山老人集会所の土地の無償貸付け)

反対 谷 晴美議員
議案第45号と同じ理由で、反対する。

賛成 重光 秋治議員

地域コミュニティ活性化を後押しする施策であり、賛成する。

賛成 ●議案第60号(老人集会所設置及び管理条例の一部改正)

反対 谷 晴美議員
議案第45号、48号と同じ理由で反対する。

賛成 重光 秋治議員

議案第48号と同じ理由で、賛成する。

賛成 ●議案第61号(介護保険条例の一部改正)

反対 谷 晴美議員
市民にとっては実質負担増で、格差と貧困が広がっている。超富裕層や大企業の税負担軽減で

はなく、応負担制度に見直す必要があると考え、反対する。

賛成 重光 秋治議員

市民の収入の実情に応じた新たな保険料分類となっている。また、低所得者に対する配慮も十分と判断し、賛成する。

賛成 ●議案第65号(国民健康保険税条例及び国民健康保険条例の一部改正)

反対 谷 晴美議員
東広島市は2年で2.75%の負担増。少子高齢化で加入世帯減少の中、市民生活の保障をすべきだったと考え、反対する。

賛成 ●議案第69号(自転車駐車場設置及び管理条例の一部改正)

反対 谷 晴美議員
駐車場を拠点施設からさらに遠ざけ、目標とは違うニーズ量を見込んで料金設定したことは大変疑問があり、市民に説明できないため、反対する。

賛成 加藤 祥一議員

栄町の自転車駐車場を昭和町に変更するというもので、市民

生活の利便性というものを主に見込んでいるという立場から、賛成する。

賛成 ●議案第70号(駐車場条例の一部改正)

反対 谷 晴美議員
議案第69号と同じ理由で、反対する。

賛成 加藤 祥一議員

議案第69号と同様に栄町から昭和町に駐車場施設を移設し、月極駐車場を整備するもの。近隣の市民の方の利便性を考慮した内容で、賛成する。

賛成 ●議案第74号(平成29年度一般会計補正予算(第6号))

反対 谷 晴美議員
大事業の推進ではなく、事業を凍結して国民健康保険会計への繰入の支援をして、市民の福祉の向上に資するべきだと考え、反対する。

賛成 高橋 典弘議員

財政状況をしっかりと見据え、適正な処理がなされたものと判

断をし、賛成する。

●議案第85号（平成30年度一般会計予算）

反対 谷 晴美議員

来年10月に消費税増税を強行すれば、格差と貧困は広がる。本市でも、富裕層のための政治から、99%の国民の暮らしを応援する経済対策へ抜本的な転換を図るべきと考え、反対する。

賛成 高橋 典弘議員

個別事業で、コストに見合った、より効果的なものかを検証しながら事業展開されれば、成長する東広島への高い期待値を持てると考え、賛成する。

●議案第90号（平成30年度国民健康保険特別会計予算）

反対 谷 晴美議員

加入世帯の減少、保険料の負担が重い等の構造的課題に対して支援すべきと考え、反対する。

●議案第91号（平成30年度後期高齢者医療特別会計予算）

反対 谷 晴美議員

高齢者が安心できる社会保障

制度とは言えず、反対する。

●議案第92号（平成30年度介護保険特別会計予算）

反対 谷 晴美議員

介護労働者の給与の引き上げ等が不可欠。深刻な働き手不足のためにも制度の抜本的な改善が必要であると考え、反対する。

●議案第103号（平成30年度水道事業会計予算）

反対 谷 晴美議員

水道事業の広域化は、メリットがない。技術者を確保し、使料収入を直営に戻すべきと判断し、反対する。

賛成 岩崎 和仁議員

東広島医療センターへの管路の耐震化を図る予算などが入っている。また、水道局でさまざまな案件に取り組んでいくことを期待し、賛成する。

●議案第104号（平成30年度下水道事業会計予算）

反対 谷 晴美議員

本市も尾道市同様、下水道接続区域を縮小し、浄化槽区域を

広げる方針転換をすべきと考え、反対する。

賛成 岩崎 和仁議員

災害に強い下水道の構築のための予算が含まれ、安心・安全の地域づくりのためには、待たなしの予算と考え賛成する。

●議案第111号（平成30年度一般会計補正予算（第1号））

反対 谷 晴美議員

大事業の一つである美術館建設費用を、福祉や教育・医療・介護に回すべきと考え、反対する。

賛成 岡田 育三議員

本市の課題に、今までよりも踏み込んでおり、高垣市長のリーダーシップを感じる。特に早急な対応が必要な事業は今後積極的に推進されることとなっており、大きな期待を込めて、賛成する。

賛成 高橋 典弘議員

まち・ひと・しごと創生総合

戦略のインプット施策・アウトプット効果も、成果目標を達成するために明確な事業として肉づけされており、事業進捗がスピードアップされるものと期待し、賛成する。

賛成 宮川 誠子議員

市立美術館は西日本一を誇る版画を中心に陶芸など誇れる作品を収蔵しており、予算が限られる中でも優秀な美術館として評価されている。老朽化に伴い収蔵作品に見合った美術館が建設されることは歓迎する。福祉・教育も大切だが、文化芸術の薫り高いまちでなければ、人々から選ばれる都市にはならないと考え、賛成する。

●議案第113号（平成30年度下水道事業会計補正予算（第1号））

反対 谷 晴美議員

民間企業の景気頼みではない事業会計へ、安定を図ることが何より求められている。全部局での解決が求められると考え、反対する。

委員会審査概要

総務委員会

●議案第36号（第6次東広島市行政改革大綱の策定）

Q 財政運営が厳しさを増す中で、それに対処する方策として、安易に人員削減などに走るのではなく、ICT・

IoTの活用や民間の活用などが重要と考えるが、本大綱にその理念は盛り込まれているのか。

A 人員削減ありきではなく限られた人材を効率的に活かす方策として、IoTや民間の仕組みづくり、考え方を含めて、盛り込んでいる。

Q 地域力の活用は重要だが、本来行政がやるべき仕事を地域に投げ出しただけになっている傾向が伺える。大綱にはその点をどう盛り込んでい

るのか。

A 地域の負担が増すような仕組みであってはならない。地域を尊重しつつ行政として支援できることを創意工夫していくという考えで大綱を進めていく。

●議案第74号（平成29年度東広島市一般会計補正予算（第6号））

Q 地方創生推進交付金に見込みにより2,256万3千円減額としているが、減額の内容について、関係部局と連携を図りながらしっかりとした検証をしているのか。

A 例えば中小企業事業高度化支援については、予定していた事業に対する申請がなかったこと等が要因である。この状況を踏まえて、またその

他の事業の課題を整理しながら、担当部局、政策企画部、財務部が一緒になって新年度に向け取り組んで行くこととしている。

文教厚生委員会

●議案第45号（宇山老人集会所の建物の無償譲渡）

Q 譲渡先が農事組合法人とのことだが、組合の定款等の変更は必要なのか。

A 当該施設に関しては、住民自治協議会と協議し、地域の総意として農事組合法人による管理運営を強く要望され、また当該法人からも地域のコミュニティづくりに供する施設として管理運営したいと申し出があったもので、2月18日に開催された当該法人の通常総会において、譲渡受け入れについて、

議決を得たと聞き及んでいる。指摘のあった定款の変更については、この議決を受けて事務を進めていることである。



宇山老人集会所

●議案第51号（指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例）

Q 人員配置の基準はどのようなになっているのか。

A 人員配置については、国において従うべき基準があらかじめ定められており、それに基づく。

市民経済委員会

●諮問第1号から7号（人権擁護委員の候補者の推薦）

Q 委員は外国人市民の相談を考慮した選出となっているのか。

A 教育文化振興事業団を通じて情報を収集したが、推薦いただける人材がいなかった。

●議案第43号（助谷上コミュニティ集会所の無償譲渡）

Q 認可地縁団体も高齢化しており、廃止等の手続きが必要になった場合はどのようにするのか。

A 市が所有の集会所は、市で活用方針を検討し、なければ市で解体していく。



助谷上コミュニティ集会所

●議案第76号（ひがしひろしま墓園管理事業特別会計補正予算（第2号））

Q 使用料収入が見込みを下回っているが、減少傾向にあるのか。

A 近年まで年20区画を超える貸し付けがあり、今年度も10〜20件程度を見込める状況であったが、現在、5区画程度の貸し付けにとどまっているものである。

建設委員会

●議案第38号（東広島市住宅マスタープランの改訂）

Q 基本目標の『誰もが安心して住宅を確保できる住宅セーフティネットの実現』、『住宅に困窮する世帯が住宅を確保することができる環境を整備するために必要な各種施策』について、例えばどういったものをイメージすればいいのか。

A 国が進めている住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居を促進する施策など、民間事業者と連携したセーフティネット住宅の供給の施策を構築することなどがある。

●議案第83号（平成29年度東広島市水道事業会計補正予算（第3号））

Q 水質検査及び管末水質監視業務の委託料が減額となった理由は何か。

A 入札残と水質監視で異常な値が出たときに追加で実施する、再測定分を予算計上していたが事例がなかったためである。

●議案第112号（平成30年度東広島市水道事業会計補正予算（第1号））

Q 上水道拡張費について河内地区で工事を行う理由は何か。

A 施設の老朽化への対応に加え、県用水及び失平配水池を有効活用するためである。

●議案第113号（平成30年度東広島市下水道事業会計補正予算（第1号））

Q 東広島浄化センター11・12池増設設計業務が補正となった理由は何か。

A 半導体工場の増設計画が決定されたためである。

ACTIVITY REPORT

東広島市議会活動レポート



議会運営委員会行政視察

- ◆視察日：平成29年10月25日～26日
- ◆視察先：新潟県上越市

上越市では、議会改革、政策提言の取り組みについて、視察を行い、「市民意見の政策への反映、政策提言の起案」や「政策形成会議」に関する説明を受けました。



議員研修

- ◆開催日：平成29年12月26日（火）
- ◆開催場所：市役所第1委員会室

「質問力を高める、議会力に活かす」をテーマとして龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏をお招きし、研修会を行いました。一般質問を始めとした質問の持つ機能、現状、課題を分析し、質問を行う際のポイントを学びました。



広島県市議会議長会 議員研修会（西部ブロック）

- ◆開催日：平成30年1月30日（火）
- ◆開催場所：グランドプリンスホテル広島

西部ブロック（広島・呉・大竹・廿日市・江田島・東広島）の議員を対象に、議員研修会が開催されました。時事通信社解説委員の小林伸年氏から「人口減少に対応する施策」と題し、昨今の社会情勢について学びました。



広報広聴委員会行政視察

- ◆視察日：平成30年2月1日～2日
- ◆視察先：兵庫県宝塚市、石川県加賀市

兵庫県宝塚市では、議会報告会・意見交換会について、石川県加賀市では、議会報告会について・意見交換会について・議会だよりモニター員制度について・子ども議会・高校生議会・女性議会について、それぞれ視察を行いました。

まだまだ元気に働きたい

福永 輝章 (河内)

私は64歳で、4年前介護の職場を定年となり、引き続き同じ職場で仕事をしています。私はありがたいなと思ながらも、勤務が続くとしんどいなーと弱音を吐き、若い人に迷惑をかけるからやめようかと考えていました。人手不足の現実もあり、今は自分の出来る仕事は頑張るやろうと開き直っています。歳を取って、仕事を続けるためには職場の環境が大切で、若い職員さんと後15年もすればみんな定年の年になると笑って話し、お互いが助け合い支え合える関係がなければ、定年後長く勤められないと日々感じています。今後、定年延長が引き上げられても、働く人が元気に仕事を続けたいと思える仕組みを社会全体で築いていくことが大切であり、長い人生元気で働けることに感謝したい。

市民の声

「The letter from a citizen」

子ども達の見守り活動

高橋 孝明 (八本松)

『地域の子どもは地域で守ろう。子どもを巻き込む犯罪は許さない。』を合言葉に、子どもを犯罪被害から守る取組みを始めて、早13年目になりました。我々八本松小学校区防犯パトロール隊は、青パト20台を有し、日々のパトロールだけではなく、定期的な夜の見回りや、子ども達自らの危険回避能力を高める為『親子防犯教室』や『地域安全マップ作り』をPTAの協力のもと開催しております。地域全体が一体となって、子ども達が安心してすくすく育つ安全な街八本松を作るのが我々の願いです。PTAの方々や地域の方々にご理解ご協力頂き、活動メンバーの輪を広げる事で、この活動を末長く続けていきたいと思っております。

平成30年第2回定例会の日程

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8 初日	9
10	11	12 常任委員会 (議案審査)	13	14	15	16
17	18	19 本会議 (一般質問)	20	21	22	23
24	25 常任委員会 (議案審査)	26	27	28 本会議 (議案審議)	29 予備日	30

議会報告会を開催します

総務委員会議会報告会

- ◆開催日時
 - ① 8月20日 (月) 19:00~20:30
 - ② 8月23日 (木) 19:00~20:30
- ◆開催場所
 - ① 東広島市市民文化センター
 - ② 高屋西地域センター
- ◆報告内容
 - 第1部 議会からの報告
 - 第2部 意見交換会
「まちひとしごと創生総合戦略」

文教厚生委員会議会報告会

- ◆開催日時
 - ① 8月7日 (火) 16:00~17:30
 - ② 8月8日 (水) 16:00~17:30
- ◆開催場所
 - ① 黒瀬保健福祉センター
 - ② 安芸津生涯学習センター
- ◆報告内容
 - 第1部 議会からの報告
 - 第2部 意見交換会
「高齢者支援について」

市民経済委員会議会報告会

- ◆開催日時
 - ① 8月10日 (金) 17:00~19:00
 - ② 8月17日 (金) 17:00~19:00
- ◆開催場所
 - ① 川上地域センター
 - ② 志和生涯学習センター
- ◆報告内容
 - 第1部 議会からの報告
 - 第2部 意見交換会
「平成30年度予算的特徴的な取り組みについて」

建設委員会議会報告会

- ◆開催日時
 - ① 8月22日 (水) 18:30~20:00
 - ② 8月23日 (木) 18:30~20:00
- ◆開催場所
 - ① 河内保健福祉センター
 - ② 道の駅 湖畔の里 福富
- ◆報告内容
 - 第1部 議会からの報告
「第四次東広島市総合計画」
 - 第2部 意見交換会
「空き家対策について」

委員会等のインターネット中継

常任委員会や全員協議会の様子が、インターネットライブ中継で視聴できます。市議会ホームページからアクセスできます。

本会議・委員会の傍聴

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。ご不明な点は議会事務局(082)420-0966へお問い合わせください。

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>

東広島市議会

検索



耳マーク



万葉ロマンの地 風早

万葉集には、天平八(西暦736)年、遣新羅使が三津湾風早の浦で船泊した夜に詠んだ歌二首がある。祝詞山八幡神社には万葉歌碑が立っており、下はその一首。

我がゆゑに 妹嘆くらし 風早の 浦の沖辺に 霧たなげけり
現代訳：私のために愛おしい妻が嘆きのため息をついているのか
風早の沖には霧が立ち込めている

市議会だより

■発行／東広島市議会
■編集／広報広聴委員会
〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
TEL.082-420-0966
FAX.082-424-9465
(議会事務局)

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shgikai/index.html>

■ご意見ご感想をお寄せください
市議会だより・東広島市議会ホームページ
に関するご意見ご感想は、東広島市議会事務局(左記)までお寄せください。



Editor's postscript

編集後記

平成30年度予算が成立

高垣新市政がスタートし、「選ばれる都市、東広島」を目指した予算が成立しました。待機児童対策として、特別対策室を立上げると共に保育士の確保・定着に向けた施策も盛り込まれており、問題の早期解決に期待しております。多くの課題がある中、本市が今後も成長していくためには、議

会として各事業計画についてしっかりと議論を重ねて、内容の充実に努めていきたいと思えます。暮らして仕事の充実を図ることによって東広島市全体で住み良いまちづくりの実現に向け努力していきますので、議会に対してのご助言等よろしくお願ひ致します。

中川 修